

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名		実習評価Ⅱ（演習）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 （1） 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	前期	教室名	実習室ほか
担 当 教 員		学科教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
評価実習では、指導者の指導・助言のもと、検査・測定を行い対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由（統合と解釈）について説明を行う。そのため、この講義では評価実習前に疾患別の理学療法の評価技術について実習を行い事前学習に充てるとともに、評価実習の履修前提条件として客観的に学生の臨床能力および統合的知識を検定する。							
《成績評価の方法と基準》							
講義内でCBT(知識)と客観的臨床能力試験(技能)、講義レポート、実習報告会など総合的な評価とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
専門基礎科目、専門科目全般の教科書や配布資料							
《授業外における学習方法》							
評価実習に向けての総合的な学習内容となるため、学内講義や検査測定実習での学習内容を十分に復習して受講すること。							
《履修に当たっての留意点》							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	講義の概要について理解することができる		実習要項	評価実習に向けての総合的な学習内容となるため、学内講義や検査測定実習での学習内容を十分に復習して受講すること。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(講義の進め方、総合臨床実習に向けての取り組み確認)				
第2～5回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習前知識の不足分野について学ぶことができる。		これまで使用した教科書類	評価実習に向けての総合的な学習内容となるため、学内講義や検査測定実習での学習内容を十分に復習して受講すること。	
		各コマにおける授業予定	CBT:Computer Based Testing 専門基礎分野、専門分野の統合学習				
第6～9回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習前に必要な技能、態度の基本能力を身につけることができる		これまで使用した教科書類	評価実習に向けての総合的な学習内容となるため、学内講義や検査測定実習での学習内容を十分に復習して受講すること。	
		各コマにおける授業予定	評価実習前OSCE:客観的臨床能力試験				
第10～15回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習での経験を簡潔にまとめ、分かりやすく報告できる 他施設に実習に行った学生の経験値を共有することができる		配布資料	実習経験のまとめ	
		各コマにおける授業予定	実習報告会				

